

2022年2月14日(月)

## 第16回鑄造技術研究会報告

鑄造技術研究会主査 長船 康裕

平成3年度第1回(第16回)鑄造技術研究会を以下の通り開催されました。Zoomへのアクセス者数は27名と多数の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

日 時： 令和4年2月14日(月) 13:30~14:30

場 所： zoomによる遠隔配信

講 師： (有)日下レアメタル研究所 藤島晋平 氏

講演題目：高マンガン球状黒鉛鑄鉄の特徴と製造上の勘所

### 講演概要：

自動車の安全性と軽量化を両立するためにマンガン(Mn)を多く含む高張力鋼板の利用量が増加するに伴って、高Mnスチールスクラップが鑄物用の原材料として流通するようになりました。Mnは硬さを目標値以上に増大させてしまうために脱Mn処理や溶湯希釈処理が行われおります。本講演では高Mn含有球状黒鉛鑄鉄でありながらもフェライト組織を増加させる溶湯処理方法と得られる鑄鉄の特性について解説いただきました。La系球状化剤の効果、モジュラスに合わせた接種剤の選定方法、スクラップ配合比と伸びへの影響について、高Mn球状黒鉛鑄鉄の軟化メカニズムから実際にスクラップを用いた生産溶湯のフェライト化と伸びの情報についてご紹介いただきました。

以上